

**SEIWA**

OPE-MAN/SPR-2SC/0203

セイワダイヤフラムエアレス

# アルバイト君

型式 AR-1

取扱説明書



ご使用前にこの「取扱説明書」をよく読み正しく  
お使いください。誤った取り扱いは機械の故障や  
大変な事故につながります。  
機械を操作する前にいつでも見られるように大切に  
保管してください。





全国 No.1 のアフターサービスネットワーク  
最新技術で豊富な機種

**SEIWA 精和産業株式会社**

この度は **SEIWA**「アルバイト君」をご選定いただきまして厚くお礼申し上げます。

- 当機のご使用に際しては、この取扱説明書を熟読していただき、正しく安全にご使用ください。誤った取扱いは、機械の故障や大変な事故につながります。
- 品質、性能向上または安全上、部品の変更を行う事がありますが、その際は本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください
- 不明な点やお気付きのことがございましたら、お買いあげ店、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

△印付きの下記のマークは安全上、特に重要な項目ですので必ずお守りください。

 <b>危険</b>	適切な事前注意をとらないと <b>死亡又は重傷を負う危険性</b> が大きいことを示します。
 <b>警告</b>	適切な事前注意をとらないと <b>死亡又は重傷を負う可能性</b> があることを示します。
 <b>注意</b>	適切な事前注意をとらないと <b>傷害又は製品の重大な損傷を招く可能性</b> があることを示します。
 <b>留意</b>	製品の使用上の留意点や参考となる事柄を示します。

## 目 次

1, 安全のために	1
2, 使用上の注意	2
3, 仕様諸元表	3
4, 各部名称、機能及び、基本操作	4
5, 作業操作手順	5
5-1 準備	5
5-2 作業開始	5
5-3 中断・停止	5
5-4 洗浄・終了・手入れ	6
5-5 消耗品の交換	6
6, トラブル対策	7
6-1 モーター	7
6-2 ポンプ側	7
7, オプション	7
8, 万能アルバイト君・Sセット接続方法	8-10

## 1 安全のために

### ⚠ 危険

- 引火性のある塗料(液体)を用いた塗装作業は火災や爆発の危険があります。引火源となるタバコ、ライター、火、溶接、グラインダーの火花等避け、換気の良い場所で使用してください。
- 本機は非防爆構造です。引火性爆発性ガス、腐蝕性ガスのある場所では使用しないでください。火災や爆発事故につながり危険です。

### ⚠ 警告

- 非常に高い圧力で噴出する塗料(液体)は身体を傷つける危険があります。塗料ホースからの漏れ出しがあった場合は直ちに作業を中止してください。
- 漏れ出ししている部分を手足や身体で止めることは絶対にしないでください。
- 異常を取り除く場合は必ず機械を停止させ、全ての圧力を抜いた後行ってください。
- 塗料ホースを強く引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
- 外観にキズ・折れ曲がり・潰れていたりする塗料ホースは破裂して塗料が吹き出す恐れがあるので使用しないでください。
- 接続部は漏れないようにしっかり締め付けてください。漏れが発生した時は、直ちに機械を停止させ、リターンコックを開き、塗料圧力を下げてください。
- 本機は必ず接地(アース)してください。
- アース線はガス管へは接続しないでください。ガスによる火災、爆発事故につながります。
- 塗料ホースは専用ホース以外使用しないでください。接続不良、耐圧不足に漏れ、破裂の原因になります。
- 本体のカバーを外して運転したり、回転している部分に棒を突っ込んだりしないでください。服や手が巻き込まれ、危険です。

### ⚠ 注意

- 雨、濡れた場所、蒸気など湿度の多い場所での保管、使用はしないでください。感電事故、サビつきにつながります。
- 直射日光の当たる場所での使用はしないでください。モーター焼損の原因になります。
- 関係者以外やお子様は近づけないでください。誤った操作やいたずらにより思わぬ事故を招きます。
- 本機に直接塗料を吹き付けたり、ゴミ・ホコリの多い場所では使用しないでください。加熱事故の原因になります。
- ホース金具の締め付け漏れない程度にしっかり締め付けてください。強く締め付けすぎると金具部が損傷する恐れがあります。
- ホース破損等万一に備え、周囲には養生を設置し、建物、車等、大切な物を汚さないように注意してください。

### ⚡ 医療処置

- たとえどのような塗料(液体)であっても皮膚を傷つけた場合は、軽傷として扱わず直ちに医師による適切な治療を受けて下さい。又、どのような液体によるものなのかを的確に教えてください。

## 2 使用上の注意

本機は、低粘度塗料の小型圧送機として開発されたものです。

末永くご使用いただくために下記制約事項を確認の上、順守くださるようお願い申し上げます。

- 高粘度塗料、骨材入り塗料は使用できません。(塗料粘度は 20Pa・s 程度まで)
- 使用流体は、常温(40℃以下)でご使用ください。
- ダイヤフラムの耐久は、200時間程度です。(使用状況により異なります。)  
定期的な交換が必要となります。(交換方法 P6.5-5 消耗品の交換参照)
- ひんぱんにモーターが起動、停止を繰り返す場合はモーター焼けの原因となりますので  
早めの改善を行ってください。  
(弁の摩耗、異物混入、ノズルの使用等、P7.6-1 トラブル対策 モーター参照)
- 圧カスイッチ部に加圧衝撃が加わると圧カスイッチが破損する恐れがあります。衝撃を吸収できるよう下記の点にご注意ください。
  - ① ホースはペイントホース 10m 以上でご使用ください。
  - ② 流量調節弁はガン側に接続ください。
  - ③ モーターが頻繁に ON-OFF が繰り返されないようスピードコントローラーで調節ください。

- 何らかの原因で異常電流が流れると、ヒューズが断線し、モーターが停止します。

ヒューズの交換はスイッチを「OFF」にしてコンセントからプラグを抜き、異常原因を改善した上でヒューズの交換を行ってください。

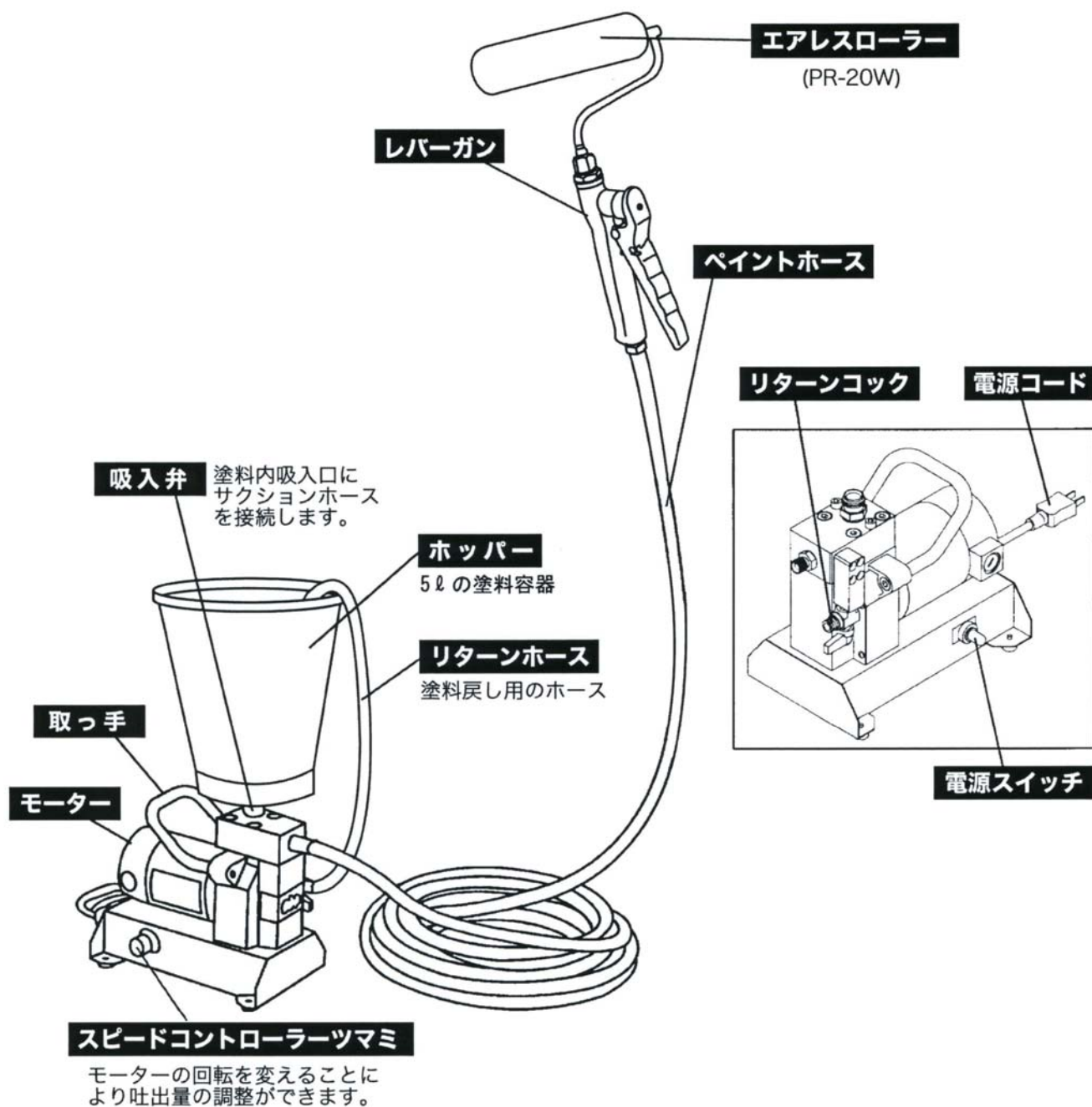
- ヒューズの交換方法

- ①ヒューズホルダーのキャップを外します。
- ②ふたと一緒にヒューズ管が出てきます。
- ③ヒューズを交換してください。(ヒューズはガラス管ヒューズ5Aのものをお使いください。)
- ④ヒューズを取り付け、キャップをねじ込んで交換は完了です。

### 3 仕様諸元表

型 式		AR-1
電 源 (V)		AC100 (50/60Hz)
定格出力 (W) / 定格電流 (A)		100 / 1.6
圧力制御方式		圧カスイッチ
最大圧力 (Mpa)		1.7 (17kgf/cm <sup>2</sup> )
調整最小 / 調整最大 (ℓ/min)		0.7 / 1.6
寸法 L×W×H (mm)		243×145×215
重量 (kg)		5.9 (※本機のみ【ホッパー無し】重量)
機能		スピードコントローラー付
セット内容	本体セット	本機・ホッパー5L アースリード・工具
	RAセット	本体セット 圧送ローラー本体 (PR-20W) ペイントホース (6.5) 10m ローラー専用ガン
	RBセット	本体セット 圧送ローラー本体 (PR-20W) ペイントホース (9.0) 20m レバーガン ペイントホース (6.5) 2m 中間ジョイント 1/4 ジョイント 3/8PFM×1/4(U)
	Sセット	本体セット ペイントホース (6.5) 10m CB-300E (本) SGL-3 (10) 流量調節弁 エアホース (19) 10m エアホース (19) 1.5m

## 4 各部名称・機能及び、基本操作



### ⚠ 留意

- 本機は家庭用 100V 電源用です。それ以外の電源は絶対に使用しないでください。
- リターンコックによる圧力の調整はしないでください。機械故障の原因になります。

## 5 作業操作手順

### 5-1 準備

- ①ペイントホース、ローラーハンドルセット、ローラー本体をそれぞれ確実に締めてください。

#### ☞ 留意

ホッパーは、まだ取り付けないでください。

- ②スイッチが「OFF」であることを確認後、アースを施してください。  
その後、電源プラグをAC100V電源に差し込みます。
- ③リターンコックが開いていることを確認した後、スイッチを「ON」にし、吸込口に手のひらを当て吸い込みがあるかどうかを確認します。

#### ☞ 留意

##### ◆吸込力がない場合は？◆

吸入弁内に溶剤(使用塗料の希釈液)を入れ、呼び水を行ってください。  
吸入弁棒を押して固着を解除させてください。

### 5-2 作業開始

- ①吸入弁作動確認後、ホッパー、リターンホースを取り付け、ホッパーの中に塗料を入れます。  
塗料の吸い込みが始まります。

#### ☞ 留意

●圧送可能塗料粘度は20Pa・s程度までです。骨材入り塗料は圧送できません。

- ②リターンホースから塗料が出てきたら、塗料に空気が含まれていないことを確認した後、リターンコックを閉じてください。塗料ホースに圧力がかかり作業を開始できます。

#### ☞ 留意

- 作業中、空気の吸い込み等により、吸い込み不良を起こしたときはリターンコックを開いて十分にエア抜きを行ってください。
- 作業中は換気を十分に行い、風通しの良い場所で行ってください。

### 5-3 中断・停止

- ①モーターのスイッチを「OFF」にします。
- ②リターンコックを開いて、圧力を逃がしてください。



## 5 作業操作手順

### ▶ 5-4 洗浄・終了・手入れ

- ①ローラーハンドルのコックを閉じ、リターンホースを塗料缶に入れてリターンコックを開け塗料を排出します。
- ②リターンホースから塗料が出なくなった後、ホッパーに 1L 程度の洗浄液を入れ、ラスター刷毛等でホッパーの内面に付着した塗料を洗っていきます。

#### ☞ 留意

- 洗浄液とは塗料に適したシンナー・水等のことです。
  - ・水性塗料→水
  - ・油性塗料→シンナー

- ③リターンホースから洗浄液が出てきたらローラーハンドルのコックを開け、リターンコックを閉め塗料をローラー側から出します。
- ④ローラー側から洗浄液が出てきたらその状態でしばらく洗浄液を循環させ、塗料通路内の洗浄を行ったあと、ローラー側から塗料ホース内の洗浄液を抜きます。
- ⑤リターンコックを開き、リターンホース内の洗浄液を抜き終了します。

#### ☞ 留意

- 長時間使用しない場合は、洗浄液を完全に抜き取り固着防止のためサビ止め油を吸入弁に充てんしておいてください。
- 廃塗料、使用済み洗浄液は絶対に川・下水等に流さないでください。廃棄物処理業者に引き取りを依頼してください。

### ▶ 5-5 消耗品の交換

※吸入弁・吐出弁・ダイヤフラムは消耗品です。

使用状況によっても異なりますが、ダイヤフラムは 200 時間を目安に交換することをおすすめします。



## 6 トラブル対策

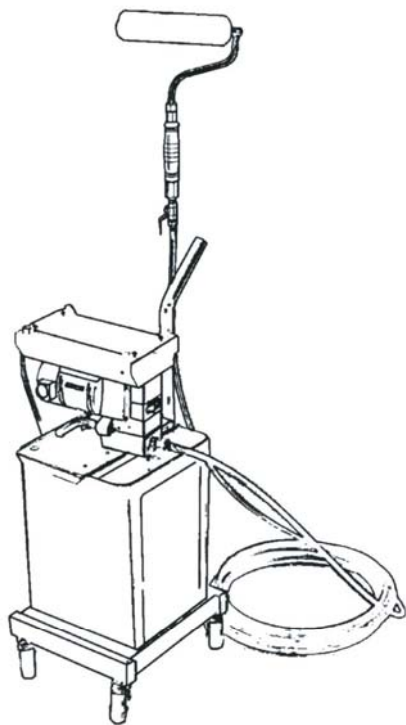
### 6-1 モーター

現象		原因	対策	
回転しない	音がしない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヒューズ断線</li> <li>●圧カスイッチの接点不良</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヒューズの交換</li> <li>●圧カスイッチ交換</li> </ul>	
	うなり音がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●塗料の圧力が残っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リターンコックを開き圧力を抜く</li> </ul>	
回転はするが	異常音がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●回転部分の損傷・摩耗・摩擦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●工場で修理</li> </ul>	
	負荷をかけると	回転数が異常に下がる・止まる 電流が異常に高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>●低電圧・電圧降下が大きい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源電圧を AC100V にする</li> <li>●太いコードを使用する</li> <li>●延長コードの使用をやめる</li> </ul>
		頻繁に断線運転する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●吐出が絞られている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●モーター回転を下げる</li> <li>●粘度を下げる ペイントホースを太くする</li> <li>●ノズル等使用の場合は口径を上げる</li> </ul>
	ガン止めも 止めても	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガン・ホースからの漏れ</li> <li>●弁の摩耗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●漏れている部分を修理する</li> <li>●弁の交換</li> </ul>	

### 6-2 ポンプ側

現象	原因	対策
吸入力がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エア抜き操作を行っていない</li> <li>●吸入弁・吐出弁の固着</li> <li>●吸入弁・吐出弁のダイヤフラム摩耗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エア抜き操作を行う</li> <li>●呼び水を行い、吸入弁を棒でつついて固着を解除する</li> <li>●部品交換</li> </ul>
吸入力はあるが吸い込まない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ホッパーフィルターの目詰まり</li> <li>●ホッパーのゆるみによるエア吸い込み</li> <li>●エア抜きが不十分</li> <li>●塗料粘度が高すぎる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●掃除</li> <li>●増し締め</li> <li>●エア抜き操作を行なう</li> <li>●粘度を下げる</li> </ul>

## 7 オプション



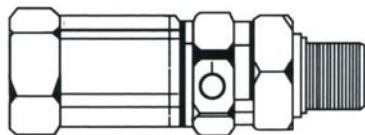
### 1. 一斗缶台車セット

プレートにポンプロラーを逆さに取り付け直吸い用サクシオンパイプを取り付けることにより、一斗缶から直吸い可能となります。

さらに台車にはキャスター付きで移動が楽になります。

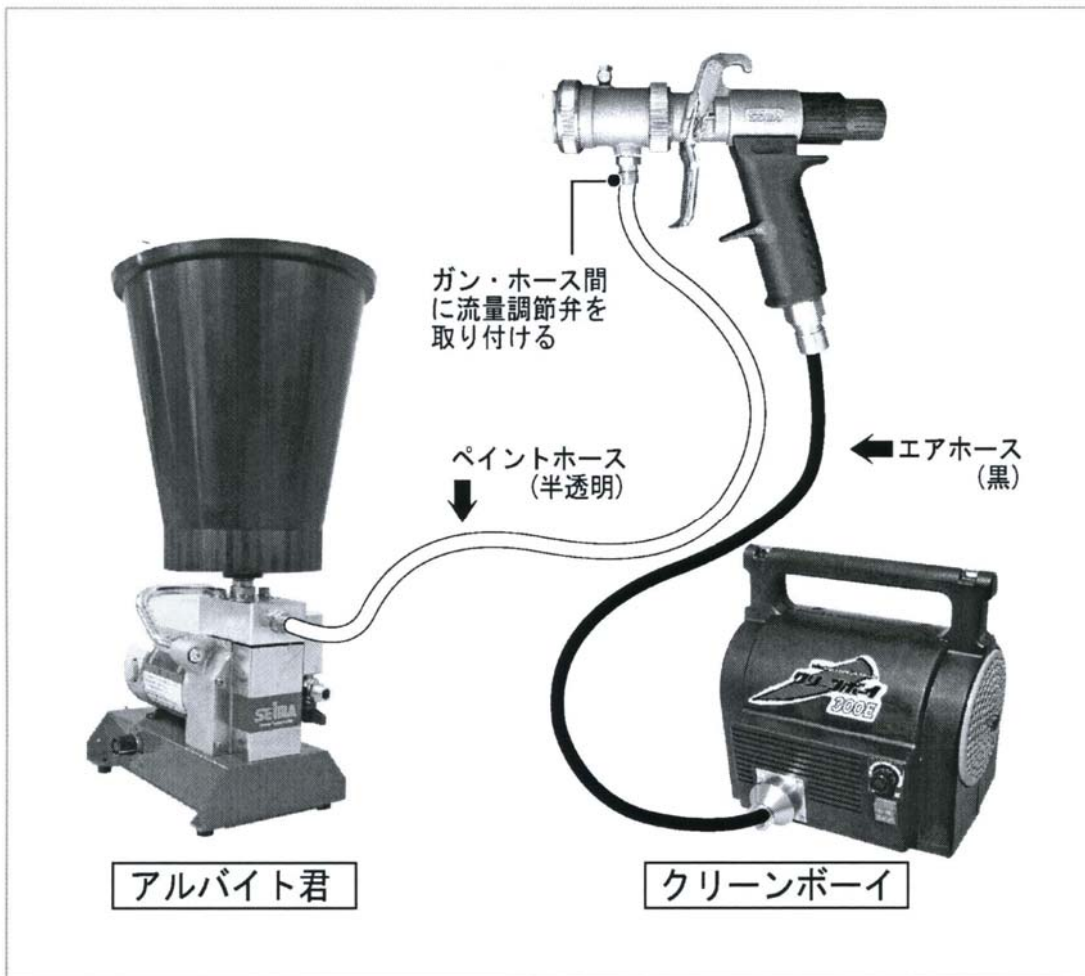
### 2. ガンスイベルセット

ガンとペイントホースの間に取り付けることによって、ホースのよじれを解消し、取り回しが楽になります。



## 8 万能アルバイト君・S セット接続方法

### ◆ 万能アルバイト君仕様 セッティング手順



#### 1. ガンとホース、流量調整弁の接続

引き金手間にあるジョイント部に付属の流量調整弁を取付ます。(このとき調整ノブが操作しやすい方向にあわせて取り付けてください)

流量調整弁のジョイントにペイントホース (半透明) を工具でしっかりと締め付けます。

#### 2. 本体とホースの接続

本体にペイントホースを工具でしっかりと取り付けます。

#### 3. CBエアホースの接続

SGL-3の手元オスカプラ部分にCBのエアホースを取り付けます。

ワンタッチとなっており、取扱が容易です。

## アルバイト君CB接続仕様の取り付けと塗料調整手順

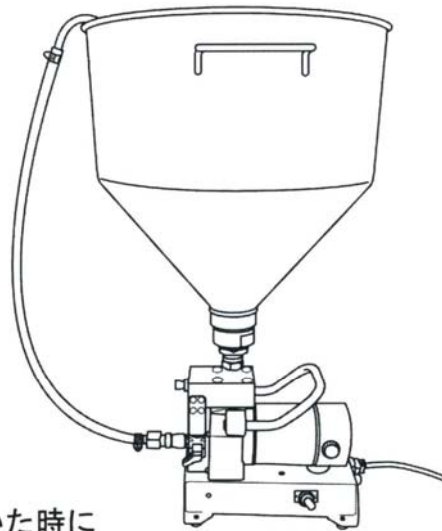
- ①アルバイト君本体、ホッパー、ペイントホース、流量調節弁、ガンSGL-3、を  
工具を使って締め付けます。
  - ②CB300とエアホース、ガンをセットします。  
※CBのスイッチはまだOFFのままです。
  - ③塗料が水性の場合はホッパー内に水を、溶剤の場合はシンナーをホッパー内に入れます。  
※ホッパー内に半分以内で十分です。
  - ④ホッパー内の水（または、シンナー）が無くなったところで、材料を入れます。
  - ⑤ガン先に材料が出てくるまで引き金を引いて待ちます。  
※材料が出てくるまでは、空の缶に向けて出すほうが良いです。
  - ⑥ガン先から塗料が出たら量を調整します。
  - ⑦アルバイト君のリターンコックを半分くらい開けて、ホッパー内に材料が出ている状態でガンから材料をホッパー内に出します。
  - ⑧材料が弧を描いてホッパー内に出るように流量調節弁で調整します。
  - ⑨CBの電源を入れてダンボール等に試し吹きをします。
- ※1 塗料の出る量が多く、仕上がりが悪い場合は流量調節弁を絞り、モーターの回転数を下げます。それでも変わらない場合は、リターンコックを少しずつ開けます。
- ※2 塗料の出る量が少なく、作業性が遅い場合は流量調節弁を開け、モーターの回転数を上げます。それでも変わらない場合は、リターンコックを少しずつ閉めます。
- ※3 調整は使う材料、塗る物、仕上がりにより異なります。どれくらいが最適かを確認しながら調整ください。

## ◆塗料調整方法

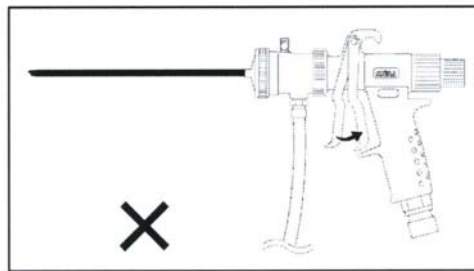
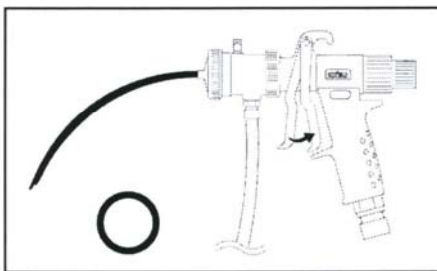
ガンへ塗料を送る量と圧力の調整は下記の様にしてセットをしてください。

① ガンと流量調節弁、ホース、本体を接続していただいた状態で、ホッパーに水もしくはシンナーを適量入れてください。スイッチを入れホース内に水（シンナー）を通し、ホッパー内から無くなりましたら、材料を入れます。

② リターンコックは通常閉じて使用しますが、クリーンボーイと繋げて使用する場合は、リターンコックを半分程度開けていただき、ホッパー内に材料をある程度戻るようにします。



③ ホッパー内もしくは、容器に向けてガンを引いた時に材料が弧を描いて落ちる程度に調整します。



④ 本体のスピードコントロール、流量調整は材料の粘度や仕上がりにより調整をしてください。

### 作業性と仕上がり

	仕上がり重視	作業性重視
スピードコントロール	遅い	早い
流量調整	少ない	多い

⑤最後に温風塗装機のクリーンボーイのエアをガンに取り付けて仕上がりを確認して作業を開始してください。

アルバイト君の使用開始前に必ず下記空欄に必要な事柄を記入してください。  
点検の時に大変役に立ちます。

項目	ご記入欄		
型式	AR-1	ご使用開始 年 月 日	
製造番号		ご購入先	TEL ( )
ご購入 年月日			

## アフターサービスについて

### 保証規定

#### 1.保証内容

お買い上げの日から1年の間に正常な使用状態にも関わらず弊社の責任に基づき故障が発生した場合は無償修理させていただきます。

#### 2.適用除外 ●保障期間中でも下記の場合には適用いたしません

- (1) 不当な修理や改善による故障、損傷。
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障、損傷。
- (3) 火災、塩害、ガス外、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障、損傷。
- (4) 使用・取扱い上の酷使、過失、手入れ不十分および外的損傷による故障、損傷。
- (5) ノズル、摺動部の磨耗およびパッキン等の消耗部品。
- (6) 注意事項および取扱説明書に記載した内容の範囲外の条件で使用した故障および損傷。
- (7) 書類に不当な字句訂正などがあった場合。

#### 3.本書はお買い上げの納品書(納入口が記載されていることを確認)とともに大切に保管してください

### ユーザー登録について

～保証対象の確認および、速やかな保証対応のために、機械購入時にユーザー登録をお願いしています～  
同封の保証書に必要な事項をご記入いただきFAXいただくか、弊社ホームページ経由でも受付をしています。  
ホームページ経由でご登録いただきますと、ご購入いただいた商品のメンテナンス情報、関連する付属品、  
便利なオプション品情報、新商品情報など、定期的に情報配信をさせていただきます。

是非、この機会にご利用くださいますようお願いいたします。

- ・登録場所/精和産業トップページ右側中段「機械ご購入者様用・保証書ユーザー登録」

<https://www.seiwa.com>

ここからも登録できます→



### 修理サービス

修理はお買い上げの販売店又は、弊社最寄りの営業所にご連絡ください。

## SEIWA 精和産業株式会社

浜松配送センター

〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町1348  
TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180

仙台	981-1105	仙台市太白区西中田6-15-13	携帯	090-3212-9902
群馬	371-0854	群馬県前橋市大渡町1-8-6	携帯	080-1838-8248
東京	136-0072	江東区大島5-12-7	TEL	03-3638-6911
神奈川	242-0029	大和市上草柳8-28-18	携帯	090-7404-1915
名古屋	453-0839	名古屋市中村区長筈町4-15	携帯	080-1838-8248
大阪	547-0001	大阪市平野区加美北8-1-18	携帯	080-1838-8248
岡山	710-0841	倉敷市堀南606-1	携帯	090-8855-1690
福岡	816-0912	大野城市御笠川1-8-7	携帯	090-8855-1690
エス・ティール	891-0175	鹿児島市桜ヶ丘2-22-10	携帯	090-2515-0068
塗機商事	903-0124	中頭郡西原町呉屋108-6	携帯	080-1794-4141